

[第663回 大阪放送番組審議会議事録]

1. 開催日時 令和6年1月10日(水) 午後1時00分～2時00分
2. 開催場所 アートホテル 大阪ベイタワー 22F スカイバンケット
3. 委員の出欠
委員の総数 6名

出席の総数 6名

出席委員の氏名 成瀬 國晴 河内 厚郎
たつみ 都志 上林 寛和
内田 透
鎌田 雅子(書面参加)

放送事業者側出席者の氏名
吉野 達也 志知 直哉
上野 慶子 竹内 啓
4. 議題
 - 1) 審議番組
「祝! 矢沢永吉・日本武道館公演 150回記念スペシャル『拝啓、YAZAWA様』」
 - 2) その他
5. 議事の概要

議題1) 『祝! 矢沢永吉・日本武道館公演 150回記念スペシャル『拝啓、YAZAWA様』』
について、番組の企画意図と内容を説明し、意見を聞いた。

社側 矢沢永吉さんの通算150回目の日本武道館公演が2023年12月14日(木)に
行われることを記念して、YAZAWA 愛を凝縮した番組を制作、放送しました。
ナビゲーターには山口智充さんを起用、そしてクレイジーケンバンドの横
山剣さんがミュージシャン、そしてキャロル時代からのオールドファンの
視点から矢沢永吉さんの魅力に迫ります。

<各委員のご意見>

委員 YAZAWA 愛を語る、というこの番組。企画した方の「これをやりたい！」という思いが伝わって来る。メインのお二人ぐっさんと横山剣さんもそれにふさわしい、豪華な人選だと思う。ラジオ大阪 65 歳、これからもどんどんチャレンジして行ってほしい。

委員 山口智充さんの語りは上手だが、やや独走気味。横山剣さんの説明はミュージシャンの視点から語られているもので、要領を得ていた。スタジオの人間だけ(内輪)で盛り上がっている所はもう少し押さえて欲しかった。

委員 この番組は、矢沢永吉さんに興味がない人は全く関心が持てない半面、ファンにはたまらないという二極化のコンテンツ。もう少し著名人のメッセージがあればより厚みが増したかと思う。ただ、個人的には興味深く心地よく聴ける番組で、楽しませていただいた。

委員 矢沢ファンによる、矢沢ファンのための番組。横山さんの「矢沢さんはロックシンガーだけど、ソウルシンガーではないか」「歌は作る物ではなく骨から染み出てくるもの」など核心をついたコメントは貴重だろうなど思った。OA できなかった楽曲をお2人が鼻歌で歌う所などは、愛情を感じる事ができて良かったと思う。

委員 トラバス中之島の話が意外と面白かった。自分自身、矢沢永吉は聞かないが、昔テレビで放送した「矢沢永吉ファン」の生態を研究し、追いかけている番組が面白かった事を思い出した。この番組に関しては間違いなく成功している。

委員 かつて高倉健さんのファンが肩を怒らせて歩いたり、タイガースファンが六甲おろしを熱唱したりする様子を思い出した。司会者2人の熱量が凄いのので、新規リスナーが入り辛い感じがある。

社側 貴重なご意見、ありがとうございました。

以上

7. 審議会の答申又は改善意見に対してとった措置および年月日

なし

8. 審議会の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容・方法及び年月日

- 「番組審議会だより」 （第663回大阪放送番組審議会議事録の要約）
「ラジオ大阪番組審議会レポート」 内で放送
放送日 令和6年2月11日（日）17時40分～17時45分
- 「番組審議会だより」 （第663回大阪放送番組審議会議事録）
ラジオ大阪ホームページ (<http://www.obc1314.co.jp>) に掲載
- 番組審議会の議事録の原本は事務局立ち会いのもと閲覧に応じる。

9. その他の参考事項

訂正放送または取り消しの放送の請求及び請求に対しての措置が無い旨を報告。

以上